

印象の与え方

及川 直総

目的

- 本研究を通して良い印象の与え方を学び、今後に生かす。

仮説

- かたい・信頼できる等の印象はスー
ツ系、好感が持てる・親しみ易い等
の印象はカジュアル系のシンプルな
服装等で印象を変えさせることが可
能だと考える。

実験方法

- 異なる服装の写真を5枚用意し、その後アンケートをとる。
- 分散分析を行う。

アンケート内容

綺麗 ⇔ 汚い

明るい ⇔ 暗い

活発 ⇔ 不活発

高価 ⇔ 安価

派手 ⇔ 地味

若い ⇔ 若くない

かたい ⇔ やわらかい

ユニーク ⇔ ありふれた

センスが良い ⇔ センスがない

好感が持てる ⇔ 好感が持てない

親しみ易い ⇔ 親しみにくい

信頼できる ⇔ 信頼できない

4段階評価

写真1・2



写真3・4



写真 5



親しみ易い

ペアごとの比較

測定変数名: MEASURE_1

(I) factor1	(J) factor1	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率 ^b	95% 平均差信頼区間 ^b	
					下限	上限
1	2	-1.250*	.260	.000	-1.795	-.705
	3	-.750*	.239	.005	-1.251	-.249
	4	-.100	.261	.705	-.645	.445
	5	-.400	.234	.104	-.890	.090
2	1	1.250*	.260	.000	.705	1.795
	3	.500*	.235	.047	.008	.992
	4	1.150*	.233	.000	.663	1.637
	5	.850*	.209	.001	.413	1.287
3	1	.750*	.239	.005	.249	1.251
	2	-.500*	.235	.047	-.992	-.008
	4	.650*	.264	.024	.097	1.203
	5	.350	.244	.167	-.160	.860
4	1	.100	.261	.705	-.445	.645
	2	-1.150*	.233	.000	-1.637	-.663
	3	-.650*	.264	.024	-1.203	-.097
	5	-.300	.282	.301	-.890	.290
5	1	.400	.234	.104	-.090	.890
	2	-.850*	.209	.001	-1.287	-.413
	3	-.350	.244	.167	-.860	.160
	4	.300	.282	.301	-.290	.890

推定周辺平均に基づいた

*. 平均値の差は .05 水準で有意です。

b. 多重比較の調整: 最小有意差 (調整無しに等しい)

信頼できる

ペアごとの比較

測定変数名: MEASURE_1

(I) factor1	(J) factor1	平均値の差 (I-J)	標準誤差	有意確率 ^b	95% 平均差信頼区間 ^b	
					下限	上限
1	2	.500*	.170	.008	.144	.856
	3	.050	.185	.789	-.336	.436
	4	1.650*	.233	.000	1.163	2.137
	5	-.100	.176	.577	-.469	.269
2	1	-.500*	.170	.008	-.856	-.144
	3	-.450*	.198	.035	-.865	-.035
	4	1.150*	.182	.000	.770	1.530
	5	-.600*	.152	.001	-.919	-.281
3	1	-.050	.185	.789	-.436	.336
	2	.450*	.198	.035	.035	.865
	4	1.600*	.255	.000	1.065	2.135
	5	-.150	.244	.545	-.660	.360
4	1	-1.650*	.233	.000	-2.137	-1.163
	2	-1.150*	.182	.000	-1.530	-.770
	3	-1.600*	.255	.000	-2.135	-1.065
	5	-1.750*	.216	.000	-2.202	-1.298
5	1	.100	.176	.577	-.269	.469
	2	.600*	.152	.001	.281	.919
	3	.150	.244	.545	-.360	.660
	4	1.750*	.216	.000	1.298	2.202

推定周辺平均に基づいた

*. 平均値の差は .05 水準で有意です。

b. 多重比較の調整: 最小有意差 (調整無しに等しい)

結果

- スーツの与える印象は信頼でき、かたいといったものが強く、親しみやすく、若いという印象にはつながらない。
- 逆に親しみ易い、活発などの印象を与えられるのは写真2のような服装だった。
- スウェットは良い印象に結びつくことはなかった。

考察

- 服装の違いによって与える印象は大きく違うことがわかった。
- 今回の実験では、モデルは同一人物とはいえ、背景が異なる点、顔・身体との角度の違い等、写真に統一性がないということが問題点である。
- あらかじめ服を用意し、同じ背景、同じポーズの写真を準備できれば、正確なデータに近づくと考えた。